

6月定例議会報告

「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を求める意見書請願否決

6月定例議会

年金者組合秩父支部から出されていた「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を求める意見書提出の請願は、総務文教厚生常任委員会にて採択となったものの、本会議において賛成少数で否決されてしまいました。残念です。

賛成議員 大野伸恵議員 若林想一郎議員

向井芳文議員 浅見裕彦議員

委員会で賛成議員

小泉初男議員 若林清平議員

この請願は①隔月支給の年金を毎月支給に②支給年齢のこれ以上の引き上げをやめるように③「マクロ経済スライド」による年金引き下げについては慎重に④「最低補償年金制度」の創設に向けて検討をという4項目の年金制度充実を求めている意見書提出でした。

6月議会の議案

有限会社果樹公園あしがくぼの経営状況について
専決処分

・横瀬町税条例等の一部改正

・横瀬町国民健康保険条例の一部改正

・横瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算

条例

・町立横瀬小学校校舎整備検討委員会条例

条例の一部改正

・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例

・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例

補正予算

・一般会計

・国民健康保険特別会計

・人権擁護委員候補者の推薦について

公平委員会委員の選任について

浅見議員一般質問



浅見裕彦議員

町営保育所の直営堅持を

横瀬町は町営保育所を有し、地域のニーズに合った保育を実践してきています。横瀬町が子育てにやさしい町をアピールするに当たり、町営の保育所を有し、町として安心安全を保障できる保育体制を維持することは重要な課題であると考えます。

問 児童福祉法第24条第1項の市町村の責務についてどの様に捉えているか

答 直接町が保育するのみでなく認定保育園を含めて利用調整して保育サービスを提供することで責務は果たせると考える。

経験豊富な職員がいてこそ、保護者が安心して任せられることと考えます。

問 保育にとつての専門職としての職員をどの様に配置し今後継承を図っていくのかを示してください。

答 方向性を定めたいうえで検討して行きます。

問 基礎的な自治体の固有の業務として町立の保育所を堅持する事が大事と考えますが、町の考えを示してください。

答 保育に対する町の義務を果たすべく一番良い保育サービスを提供できるように検討する。



町職員の昇任・昇格等の処遇改善及び福利厚生の充実に

町の仕事を少ない人数で住民福祉向上に努めているところであり、町としても働きやすい職場作りが必要で、より一層の充実を図れば職員のモチベーションも高まると考えます。

問 町職員の一般的な昇任昇格基準、前歴換算は

答 例として大学卒で新規採用6年経過後主任、4年

経験で主査級試験の受験資格・合格後主査となる。前

歴経験は民間経験80%以下と規定している。

問 新たな職名の開発を含め処遇改善をどの様に図ろうとしているか

答 近隣他市町村の動向を勘案すると新たな職は考えていません。

問 再任用職員の給与の位置づけ、採用条件も示してください。

答 給与表2級の主任で短時間勤務 無年金期間を考慮し年金受給権が取得できるまでとしている。

問 福利厚生について、宿泊補助などのレクレーション補助、結婚休暇等休暇の状況、職務専念義務免除の状況、被服貸与の実態等横瀬町の現状と到達点の認識を示してください。そして職員の要望に対する受け皿がどの様になっているか、どのようにしようとしているかを示してください。

答 福利厚生については市町村共済組合の事業に沿って行っています。

問 今の制度や要綱等は万全でないので適宜ブラッシュアップを図っていききたい。

答 シュアアップを今後は図っていききたい。

終活情報伝達事業について

問 終末をどのようにむかえるかが大きな関心事になっていないか

答 町として終活情報伝達事業をどの様に捉えているか示し。この事業をどう進めるかを示してください。

問 終活情報（エンディングプラン）を共有する取り組みは有効であり、今後検討して行きたい。

高年齢者サロンの今後の進め方について

問 町の高年齢者サロンの位置づけと今後の進め方を示してください。

答 サロンは地域の絆の中で交流の場となっていて、孤立感を無くすので活動を拡げたい。